

# 7 章 消波工

7.1 消波工（捨石）

7.2 消波工（ブロック製作・据付）

# 7章 消波工

## 7.1 消波工(捨石)

### 1. 適用

海岸工事における離岸堤、消波堤、突堤等の海上作業における捨石工に適用する。

### 2. 数量算出項目

捨石投入の体積、捨石均しの面積を算出する。

### 3. 区分

区分は、規格とする。

#### (1) 数量算出項目一覧表

項 目	3次元 モデル	属 性 情 報			
		規 格	単 位	数 量	備 考
捨石投入	土構造	○	m <sup>3</sup>		
捨石均し	B	○	m <sup>2</sup>		

3次元モデルの基本的な表現方法は、コンクリート構造を参考とする

#### (2) 捨石投入の規格区分

捨石に使用する材料を砂利及び岩石に区分して算出する。

#### (3) 捨石均しの規格区分

捨石均しの規格の区分は以下のとおりとする。

- 捨石均し ——— 本均し (精度±5 cm)
- 荒均し (精度±30 cm)
- 荒均し (精度±50 cm)
- 被覆均し(精度±30 cm)
- 被覆均し(精度±50 cm)



#### 4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) ブロック1個当りコンクリート設計量（ $\text{m}^3/\text{個}$ ）、型枠面積（ $\text{m}^2/\text{個}$ ）及び必要に応じて鉄筋（連結用フックを含む）量（ $\text{t}/\text{個}$ ）を径毎に算出する。